

第3章 住生活の将来像と基本目標

3.1 住生活の将来像について

3.2 住宅・住環境をとりまく課題から導かれる基本方針、住生活の将来像、基本目標

3.3 住生活の将来像を実現するための基本目標

3.1 住生活の将来像について

大牟田市の住宅・住環境をとりまく課題を踏まえ、基本理念を次のように考えます。

基本理念

人は、生まれ、成長し、老いていきます。そのどの過程においても、誰もが住みやすい・ずっと大牟田に暮らしたいと思えるような住宅・住環境を整えていきます。

上記の基本理念に基づき、大牟田市総合計画に沿って、計画の基本方針を掲げます。

基本方針

- ・人にやさしい住まい・住環境が形成されたまち
- ・高齢期になっても、住み慣れた地域で、安心して暮らし続けることができるまち
- ・安心して子どもを産み育てることのできるまち
- ・地域の魅力を積極的に発信するまち

「こんな暮らしを実現したい」のキーワード

- ・ずっと暮らしたい
- ・誰もが暮らせる

「こんな住環境で暮らしを支えたい」のキーワード

- ・やさしさがあふれる住生活
- ・魅力あふれる住生活

上記の基本方針とキーワードから次のように住生活の将来像を設定します。



住生活の将来像
誰もがずっと暮らしたい
魅力とやさしさがあふれる住生活

第1章

はじめに

第2章

住宅・住環境をとりまく現状と課題

第3章

住生活の将来像と基本目標

第4章

基本目標に基づいた施策展開

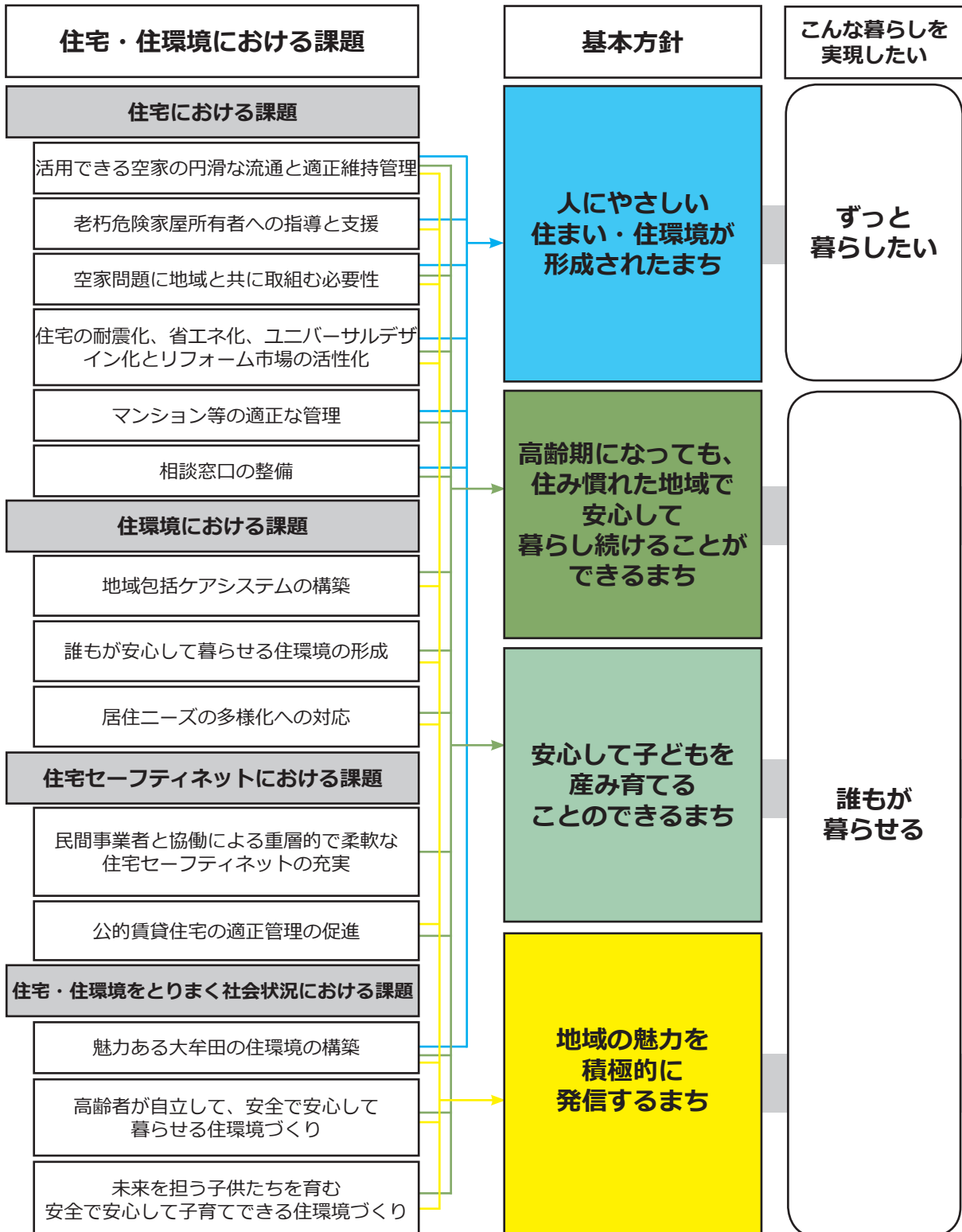
第5章

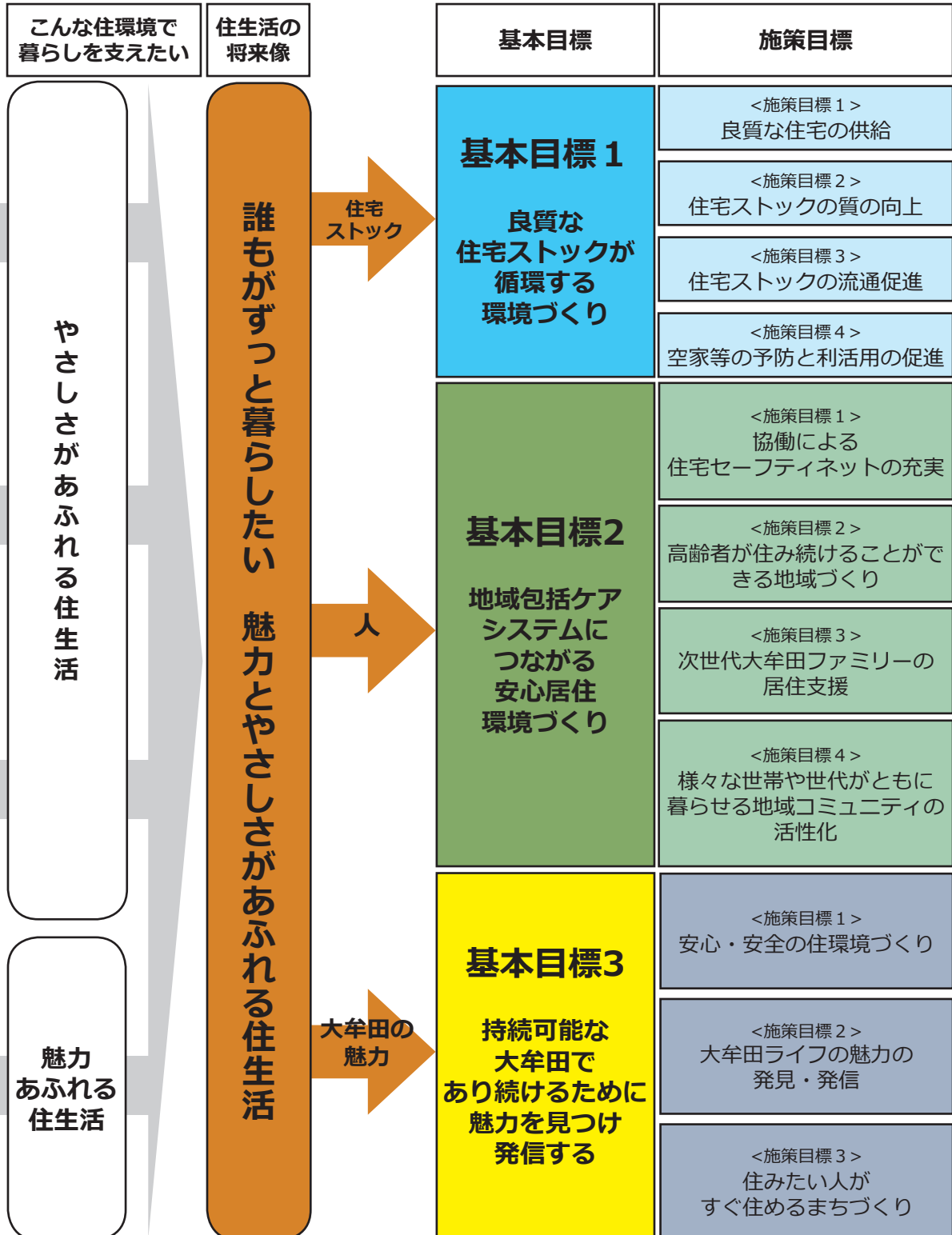
推進体制

資料編

3.2 住宅・住環境をとりまく課題から導かれる基本方針、住生活の将来像、基本目標

住生活の将来像の実現に向け、3つの基本目標と施策目標を以下のように掲げます。





3.3 住生活の将来像を実現するための基本目標

基本目標1：良質な住宅ストックが循環する環境づくり

住宅は、一人ひとりの生活の基盤であるとともに、家族を育む生活空間であり、地域やまちを構成する重要な要素です。また単に個人の財産にとどまらず、市全体の発展と安定につながる地域の財産とも言えます。

大牟田市内には中心市街地、旧産炭地、住商工混在地域、農村部など、長い歴史の中で多様な住宅ストックが供給されてきました。この住宅ストックの質の向上・流通促進及び空家等の予防と利用を図ることで、良質な住宅ストックの形成と世代や家族の枠を超え循環し、有効に活用できる環境づくりを目指します。

基本目標2：地域包括ケアシステムにつながる安心居住環境づくり

大牟田市では、全国にさきがけて、小学校区を単位とする日常生活圏域を設定し、住み慣れた地域で安心して暮らせる地域包括ケアシステムの構築に取り組んできました。

住宅施策においても、高齢者や障害者、低所得者、子育て世帯、ひとり親世帯など、住宅を確保することが困難な状況におかれている世帯や次世代を担う世帯などを含め、市民誰もが住み慣れた地域で、安心して暮らし続けることができる居住環境づくりを目指します。

基本目標3：持続可能な大牟田であり続けるために魅力を見つけ発信する

かつて、全国有数の産炭地であった大牟田市には、多様な住宅ストックや世界遺産、地域の特性などがたくさん息づいています。しかし、これらの宝物は市民や大牟田市に移住を検討する人にとって、必ずしも魅力として共有されているわけではありません。

安心・安全な住環境づくりや移住・定住の促進のため、住みたい人がすぐに住めるまちづくりに努めるとともに、地域ごとに、住宅ストック等を有効に活用しながら、モデルとなる魅力的な大牟田ライフの提案と実現を目指し、様々な人から住みたいと思われる「魅力ある大牟田」を発信していきます。